

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名		在宅当番医運営事業				事業期間	昭和52年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	1-6-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	所管課係	ふれあいセンター管理係	
目的 (何のために実施するのか)	2市4町の在宅当番医制による休日の診療業務の定着化と地域住民に対する救急医療の知識を啓発し救急患者の医療を確保する。							手段 (どのような方法で実現するのか)	在宅当番医運営事業を空知医師会に委託し実施する。 この事業は2市4町（砂川市、歌志内市、上砂川町、奈井江町、新十津川町、浦臼町）による事業であるが、砂川市が幹事市となっているため、砂川市一般会計において各市町負担金の受け入れ及び委託料の支出を行っている。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	空知医師会（各市町医師会部会）。							成果 (どのような効果が得られるのか)	初期救急患者の医療を確保するとともに、救急知識の普及啓発が図られる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯		6市町で空知医師会に委託して在宅当番医制の定着化を図ることにより、休日における急病患者の医療を確保する初期救急医療体制整備及び住民に対する救急知識の普及啓発活動（在宅当番医制・救急医療啓発事業）として補助（2/3）を受けてきた。三位一体改革により16年度から一般財源化されたが、継続実施している。													

【DO】

実績

（単位：円）

			第1次実施3力年計画				第2次実施3力年計画				第3次実施4力年計画					第7期 総合計画計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3力年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3力年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4力年 合 計	
投入された事業費の推移	国 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	そ の 他	計 画 額	1,142,000	1,142,000	1,142,000	3,426,000	1,083,000	1,083,000	1,083,000	3,249,000	1,083,000	1,083,000	1,083,000	1,083,000	4,332,000	11,007,000
		予算計上額	1,142,000	1,081,000	1,063,000	3,286,000	1,083,000	1,081,000	1,070,000	3,234,000					0	6,520,000
		実 績 額	1,103,300	1,054,944	1,083,490	3,241,734	1,070,207	1,067,720		2,137,927					0	5,379,661
	一 般 財 源	計 画 額	2,209,000	2,209,000	2,209,000	6,627,000	2,268,000	2,268,000	2,268,000	6,804,000	2,268,000	2,268,000	2,268,000	2,268,000	9,072,000	22,503,000
		予算計上額	2,209,000	2,270,000	2,288,000	6,767,000	2,268,000	2,270,000	2,281,000	6,819,000					0	13,586,000
		実 績 額	2,247,700	2,296,056	2,267,510	6,811,266	2,280,793	2,283,280		4,564,073					0	11,375,339
	事業費合計	計 画 額	3,351,000	3,351,000	3,351,000	10,053,000	3,351,000	3,351,000	3,351,000	10,053,000	3,351,000	3,351,000	3,351,000	3,351,000	13,404,000	33,510,000
		予算計上額	3,351,000	3,351,000	3,351,000	10,053,000	3,351,000	3,351,000	3,351,000	10,053,000	0	0	0	0	0	20,106,000
		実 績 額	3,351,000	3,351,000	3,351,000	10,053,000	3,351,000	3,351,000	0	6,702,000	0	0	0	0	0	16,755,000
	事業費予算の内容	委託料 (医師会委託)					委託料 (医師会委託)	委託料 (医師会委託)	委託料 (医師会委託)							
		前年度同額（医師数割の変動により内訳は増減）					前年度同額（医師数割の変動により内訳は増減）	前年度同額（医師数割の変動により内訳は増減）	前年度同額（医師数割の変動により内訳は増減）							
		同額					同額	同額								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：市負担金額	指標の求め方：市負担金額
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：診療率	指標の求め方：在宅当番医日数/休日数

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 2,209	2,209	2,209		2,209	2,209	2,209		2,209	2,209	2,209	2,209		
		実績値	2,247	2,296	2,267		2,280	2,283								
	成果指標 1 (単位/%)	計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
		実績値	100	100	100		100	100								
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない						
		総合評価				良好である				良好である						
			自己分析： 市負担金額及び 在宅当番医日数 とも計画値とほ ぼ同数であり、 医師会の集約に より市立病院と 市内開業医が分 担し、一次救急 医療体制の確保 が図られている。	自己分析： 医師数割の変動 により市負担金 が計画値を上 回っているが、 医師会の集約に より市立病院と 市内開業医が分 担し、一次救急 医療体制の確保 が図られている。	自己分析： 市負担金額及び 在宅当番医日数 とも計画値とほ ぼ同数であり、 医師会の集約に より市立病院と 市内開業医が分 担し、一次救急 医療体制の確保 が図られている。	判断理由： 医師会の集約に より市立病院と 市内開業医が分 担し、初期救急 医療が確保され ていることから、 良好と判断 した。	自己分析： 医師数割の変動 により市負担金 が計画値を上 回っているが、 医師会の集約に より市立病院と 市内開業医が分 担し、一次救急 医療体制の確保 が図られている。	自己分析： 医師数割の変動 により市負担金 が計画値を上 回っているが、 医師会の集約に より市立病院と 市内開業医が分 担し、一次救急 医療体制の確保 が図られている。	自己分析： 医師数割の変動 により市負担金 が計画値を上 回っているが、 医師会の集約に より市立病院と 市内開業医が分 担し、一次救急 医療体制の確保 が図られている。	判断理由： 医師会の集約に より市立病院と 市内開業医が分 担し、初期救急 医療が確保され ていることから、 良好と判断 した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 各市町が負担する委託料総額のうち、砂川市負担分は空知医師会 を通じ砂川部会へ交付されている。砂川部会では交付された35%を 在宅当番医調整事務及び救急医療啓発事務事業等のため、再度空知 医師会へ納付している。 砂川市における初期救急医療体制が確保されるとともに救急知 識の普及啓発が図られることから。現状のまま事業を継続する。				R8： 各市町が負担する委託料総額のうち、砂川市負担分は空知医師会 を通じ砂川部会へ交付されている。砂川部会では交付された35%を 在宅当番医調整事務及び救急医療啓発事務事業等のため、再度空知 医師会へ納付している。 砂川市における初期救急医療体制が確保されるとともに救急知 識の普及啓発が図られることから。現状のまま事業を継続する。				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名		病院群輪番制運営事業				事業期間	平成6年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	1－6－1	他に関連する基本事業	－	－	－	－	－	所管課係	ふれあいセンター管理係	
目的 (何のために実施するのか)	中空知圏域の二次救急医療体制による、休日及び平日夜間等における入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保する。							手段 (どのような方法で実現するのか)	各広域救急医療病院（砂川市立病院、滝川市立病院、市立赤平総合病院、市立芦別病院、滝川脳神経外科病院）に交付する病院群輪番制事業運営費を負担する。 なお、この事業は中空知5市5町による事業であるが、砂川市が幹事市となっているため、砂川市一般会計において各市町負担金の受け入れ及び各病院への交付を行っている。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	広域救急医療病院。							成果 (どのような効果が得られるのか)	5市5町及び広域救急医療病院の連携で、休日及び平日夜間等における手術・入院を要する重症救急患者の受入れに対応ができる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯	中空知圏域において、「在宅当番医制」により一次救急医療体制が図られていたが、二次救急医療体制としての「病院群輪番制」は実施されていなかったことから保健所の指導・助言で、当時の中空知地域保健医療対策協議会の会長市でセンター病院を有する砂川市が幹事となり、補助（2/3）を受け平成6年度より病院群輪番制運営事業として開始した。当初、5市3町（砂川市、滝川市、芦別市、赤平市、歌志内市、新十津川町、上砂川町、浦臼町）の参加であったが、平成10年度より奈井江町及び雨竜町が参加し5市5町となった。その後、三位一体改革により17年度から一般財源化されたが、継続実施している。														

【DO】

実績

（単位：円）

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 合計
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地方債		計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	その他		計画額	11,482,000	11,482,000	11,595,000	34,559,000	11,467,000	11,491,000	11,517,000	34,475,000	11,506,000	11,482,000	11,458,000	11,469,000	45,915,000	114,949,000
			予算計上額	11,482,000	11,470,000	11,518,000	34,470,000	11,467,000	11,491,000	11,501,000	34,459,000						68,929,000
			実績額	11,482,344	11,469,555	11,517,512	34,469,411	11,466,902	11,490,115		22,957,017					0	57,426,428
	一般財源		計画額	5,076,000	5,076,000	5,124,000	15,276,000	5,073,000	5,085,000	5,095,000	15,253,000	5,088,000	5,076,000	5,064,000	5,071,000	20,299,000	50,828,000
			予算計上額	5,076,000	5,070,000	5,094,000	15,240,000	5,073,000	5,085,000	5,093,000	15,251,000					0	30,491,000
			実績額	5,075,156	5,070,045	5,093,688	15,238,889	5,072,698	5,085,285		10,157,983					0	25,396,872
	事業費合計		計画額	16,558,000	16,558,000	16,719,000	49,835,000	16,540,000	16,576,000	16,612,000	49,728,000	16,594,000	16,558,000	16,522,000	16,540,000	66,214,000	165,777,000
			予算計上額	16,558,000	16,540,000	16,612,000	49,710,000	16,540,000	16,576,000	16,594,000	49,710,000	0	0	0	0	0	99,420,000
			実績額	16,557,500	16,539,600	16,611,200	49,708,300	16,539,600	16,575,400	0	33,115,000	0	0	0	0	0	82,823,300
	事業費予算の内容			交付金 （5医療機関）	交付金 （5医療機関）	交付金 （5医療機関）		交付金 （5医療機関）	交付金 （5医療機関）	交付金 （5医療機関）							
	前年度予算との比較 （増減理由）			休日が1日増えたことによる増額	休日が1日減ったことによる減額	日数が休日・夜間ともに増えたことによる増額		日数が休日・夜間ともに減ったことによる減額	日数が休日・夜間ともに増えたことによる増額	日数が休日・夜間ともに増えたことによる増額							
	実績との比較 （増減理由）			同額	同額	同額		同額	同額								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）			指標名：市負担金額				指標の求め方：市負担金額									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）			指標名：診療日数				指標の求め方：診療日数									
			第 1 次実施 3 カ年計画				第 2 次実施 3 カ年計画				第 3 次実施 4 カ年計画					第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 カ年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	総 合 計 画 計
事業 評価	指 標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 5,076	5,076	5,124		5,076	5,076	5,076		5,076	5,076	5,076	5,076		
		実績値 5,076	5,071	5,094		5,073	5,085									
	成果指標 1 (単位/日)	計画値 365	365	366		365	365	365		366	365	365	365			
		実績値 365	365	366		365	365									
	評 価 内 容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない						
		総合評価				良好である				良好である						
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における救急医療体制の確保が図られている。	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における救急医療体制の確保が図られている。	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における救急医療体制の確保が図られている。	判断理由： 二次医療圏である中空知圏域において、救急医療体制が確保されていることから、良好と判断した。	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における救急医療体制の確保が図られている。	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における救急医療体制の確保が図られている。	自己分析： 市負担金額及び診療日数とも計画値とほぼ同数であり、中空知圏域において、年間を通じて休日及び夜間における救急医療体制の確保が図られている。	判断理由： 二次医療圏である中空知圏域において、救急医療体制が確保されていることから、良好と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
	今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続						
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 地域住民の医療体制の充実を図るため、事業を継続する。				R8： 地域住民の医療体制の充実を図るため、事業を継続する。				R10：						

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名		小児救急医療支援事業				事業期間	平成18年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	1-6-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	所管課係	ふれあいセンター管理係	
目的 (何のために実施するのか)	中空知圏域の二次救急医療体制による休日及び平日夜間等における入院治療を必要とする小児重症患者の医療を確保する。							手段 (どのような方法で実現するのか)	各広域救急医療病院(砂川市立病院、滝川市立病院、市立赤平総合病院)に交付する小児救急医療輪番制の事業運営費を負担する。 なお、この事業は中空知5市5町による事業であるが、砂川市が幹事市となっているため、砂川市一般会計において各市町負担金の受け入れ及び各病院への交付を行っている。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	広域救急医療病院。							成果 (どのような効果が得られるのか)	広域救急医療病院の連携で、休日及び平日夜間等における手術・入院を要する小児重症救急患者の受入れに対応できる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯		道から一般の救急の場合と同様に、中空知圏域において当番制により小児救急医療対応が可能な病院を確保し二次救急の体制整備を進めることで、3市(砂川、滝川、赤平)と各病院に要請があり、補助(2/3)を受け、3市により事業を開始した。その後、他市町へ働きかけ、平成22年度からは5市5町による事業へ拡大し実施している。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3力年計画				第2次実施3力年計画				第3次実施4力年計画					第7期 総合計画 計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3力年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3力年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4力年 合 計	
投入された事業費の推移	国 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計 画 額	5,775,000	5,775,000	5,811,000	17,361,000	5,766,000	5,775,000	5,784,000	17,325,000	5,784,000	5,775,000	5,749,000	5,766,000	23,074,000	57,760,000
		予算計上額	5,775,000	5,766,000	5,784,000	17,325,000	5,766,000	5,775,000	5,784,000	17,325,000						34,650,000
		実 績 額	5,775,000	5,766,000	5,784,000	17,325,000	5,766,000	5,775,000		11,541,000					0	28,866,000
	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	そ の 他	計 画 額	1,794,000	1,794,000	1,806,000	5,394,000	1,792,000	1,795,000	1,797,000	5,384,000	1,797,000	1,794,000	1,787,000	1,792,000	7,170,000	17,948,000
		予算計上額	1,794,000	1,792,000	1,797,000	5,383,000	1,792,000	1,794,000	1,796,000	5,382,000					0	10,765,000
		実 績 額	1,794,650	1,792,001	1,797,390	5,384,041	1,791,539	1,794,101		3,585,640					0	8,969,681
	一 般 財 源	計 画 額	1,094,000	1,094,000	1,101,000	3,289,000	1,092,000	1,094,000	1,096,000	3,282,000	1,096,000	1,094,000	1,088,000	1,092,000	4,370,000	10,941,000
		予算計上額	1,094,000	1,092,000	1,096,000	3,282,000	1,092,000	1,095,000	1,097,000	3,284,000					0	6,566,000
		実 績 額	1,093,038	1,091,537	1,095,288	3,279,863	1,091,999	1,094,007		2,186,006					0	5,465,869
	事業費合計	計 画 額	8,663,000	8,663,000	8,718,000	26,044,000	8,650,000	8,664,000	8,677,000	25,991,000	8,677,000	8,663,000	8,624,000	8,650,000	34,614,000	86,649,000
		予算計上額	8,663,000	8,650,000	8,677,000	25,990,000	8,650,000	8,664,000	8,677,000	25,991,000	0	0	0	0	0	51,981,000
		実 績 額	8,662,688	8,649,538	8,676,678	25,988,904	8,649,538	8,663,108	0	17,312,646	0	0	0	0	0	43,301,550
	事業費予算の内容		交付金 (3医療機関)	交付金 (3医療機関)	交付金 (3医療機関)		交付金 (3医療機関)	交付金 (3医療機関)	交付金 (3医療機関)							
	前年度予算との比較 (増減理由)		休日が1日増えたことによる増額	休日が1日減ったことによる減額	日数が休日・夜間ともに増えたことによる増額		日数が休日・夜間ともに減ったことによる減額	日数が休日・夜間ともに増えたことによる増額	日数が休日・夜間ともに増えたことによる増額							
	実績との比較 (増減理由)		同額	同額	同額		同額	同額								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：市負担金額				指標の求め方：市負担金額									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：診療日数				指標の求め方：診療日数									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画				第 7 期 総 合 計 画 計	
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 業務 事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値	1,094	1,094	1,101		1,094	1,094	1,094		1,094	1,094	1,094	1,092		
			実績値	1,094	1,092	1,096		1,092	1,094								
	成果指標 1 (単位/日)	計画値	365	365	366		365	365	365		366	365	365	365			
		実績値	365	365	366		365	365									
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					変わらない				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				変わらない						
		総合評価					良好である				良好である						
			自己分析： 市負担金額及び 診療日数とも計 画値とほぼ同数 であり、中空知 圏域において、 年間を通じて休 日及び夜間にお ける小児救急医 療体制の確保が 図られている。	自己分析： 市負担金額及び 診療日数とも計 画値とほぼ同数 であり、中空知 圏域において、 年間を通じて休 日及び夜間にお ける小児救急医 療体制の確保が 図られている。	自己分析： 市負担金額及び 診療日数とも計 画値とほぼ同数 であり、中空知 圏域において、 年間を通じて休 日及び夜間にお ける小児救急医 療体制の確保が 図られている。	判断理由： 二次医療圏であ る中空知地域に おいて、小児救 急医療体制が確 保されているこ とから、良好と 判断した。	自己分析： 市負担金額及び 診療日数とも計 画値とほぼ同数 であり、中空知 圏域において、 年間を通じて休 日及び夜間にお ける小児救急医 療体制の確保が 図られている。	自己分析： 市負担金額及び 診療日数とも計 画値のとおりで あり、中空知圏 域において、年 間を通じて休日 及び夜間におけ る小児救急医療 体制の確保が図 られている。	自己分析： 二次医療圏であ る中空知地域に おいて、小児救 急医療体制が確 保されているこ とから、良好と 判断した。	自己分析： 市負担金額及び 診療日数とも計 画値のとおりで あり、中空知圏 域において、年 間を通じて休日 及び夜間におけ る小児救急医療 体制の確保が図 られている。	自己分析： 市負担金額及び 診療日数とも計 画値のとおりで あり、中空知圏 域において、年 間を通じて休日 及び夜間におけ る小児救急医療 体制の確保が図 られている。	自己分析： 市負担金額及び 診療日数とも計 画値のとおりで あり、中空知圏 域において、年 間を通じて休日 及び夜間におけ る小児救急医療 体制の確保が図 られている。	判断理由： 二次医療圏であ る中空知地域に おいて、小児救 急医療体制が確 保されているこ とから、良好と 判断した。				
	今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続							
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 二次医療圏である中空知地域において、小児救急医療体制が確保され ることから事業を継続する。				R8： 二次医療圏である中空知地域において、小児救急医療体制が確保され ることから事業を継続する。				R10： 二次医療圏である中空知地域において、小児救急医療体制が確保され ることから事業を継続する。						

【PLAN】

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

【DO】

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画	
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計		
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	1,246,000	1,246,000	1,246,000	3,738,000	1,246,000	1,246,000	1,246,000	3,738,000	1,246,000	1,246,000	1,246,000	1,246,000	4,984,000	12,460,000
		予算計上額	1,248,000	1,107,000	1,198,000	3,553,000	1,198,000	1,198,000	1,198,000	3,594,000					0	7,147,000
		実績額	1,138,000	1,249,000	1,280,310	3,667,310	1,143,562	1,106,308		2,249,870					0	5,917,180
	事業費合計	計画額	1,246,000	1,246,000	1,246,000	3,738,000	1,246,000	1,246,000	1,246,000	3,738,000	1,246,000	1,246,000	1,246,000	1,246,000	4,984,000	12,460,000
		予算計上額	1,248,000	1,107,000	1,198,000	3,553,000	1,198,000	1,198,000	1,198,000	3,594,000	0	0	0	0	0	7,147,000
		実績額	1,138,000	1,249,000	1,280,310	3,667,310	1,143,562	1,106,308	0	2,249,870	0	0	0	0	0	5,917,180
事業費予算の内容		旅費 19,000円 食料費 11,000円 交際費 1,218,000円	旅費 29,000円 食料費 11,000円 交際費 1,067,000円	旅費 29,000円 食料費 11,000円 交際費 1,158,000円		旅費 29,000円 食料費 11,000円 交際費 1,158,000円	旅費 29,000円 食料費 11,000円 交際費 1,158,000円	旅費 29,000円 食料費 11,000円 交際費 1,158,000円								
前年度予算との比較 (増減理由)		医育大学及び各専門学校等訪問回数増加のため増額	コロナ禍における訪問回数の減少における減額	コロナ制限の緩和による対面開催の増加における増額		前年度同額	前年度同額	前年度同額								
実績との比較 (増減理由)		コロナ禍における訪問回数の減少における減額	コロナ制限の緩和による対面開催の増加における増額	求人訪問活動の増（主に消化器内科医招聘による）		求人訪問活動の減（主に医師関係）	求人訪問活動の増（主に医師関係）									

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：求人関連活動数	指標の求め方：医育大学、各専門学校等訪問回数及び求人活動数
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：採用率（充足率）	指標の求め方：当年度採用数／各年度予算策定時における予算人員

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
事業 業務 業 評 価	指標	活動指標1 (単位/回)	計画値	17	18	18		18	18	18		18	18	18	18		
			実績値	3	14	10		9	11								
		成果指標1 (単位/%)	計画値	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0		
			実績値	99.6	100.0	100.0		100.0	100.0								
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					あまり達成されていない				あまり達成されていない						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					変わらない				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					少し上がっている				変わらない						
		総合評価					普通である				普通である						
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校訪問等は出来なかったが、オンラインでの就職説明会については、実施することができた結果、一定程度の成果が見られた。 ただし、看護師が不足している状況であることから、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、求人関連活動を継続して行く必要がある。	自己分析： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校訪問等は出来なかったが、オンラインでの就職説明会については、前年に引き続き実施することが出来た結果、一定程度の成果が見られた。 ただし、看護師が不足している状況が引き続いてることから、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、求人関連活動を継続して行く必要がある。	自己分析：看護師を対象とした就職説明会については開催することができた結果、一定程度の成果が見られた。他ではオンラインによる求人活動等が主流となりつつあるが、対面式で実施することによって、一定程度の成果を上げることができた。また、情報共有ツールを活用した求人情報の発信による求人活動を行うなど、一定の成果があったことを踏まえ「普通である」と判断した。	自己分析：看護師を対象とした就職説明会については対面式及びオンラインで複数回にわたり開催することができた結果、一定程度の成果が見られた。他ではオンラインによる求人活動等が主流となりつつあるが、対面式で実施することによって、一定程度の成果を上げることができた。また、情報共有ツールを活用した求人情報の発信による求人活動を行うなど、一定の成果があったことを踏まえ「普通である」と判断した。	自己分析：就職説明会・病院見学会において当院の魅力を発信することができた結果、採用予定人員の確保に繋がった。昨年度の病床削減及びコンサルを活用した各職種における職員数の適正化を図るため、退職者の補充による必要最小限の採用となった。	自己分析：各職種における採用者数の減少により、活動指標は大幅に下回ったが、成果指標については、達成することができた。求人活動については継続して実施することが重要であるとの認識のもと、対面方式又はオンライン方式による就職説明会を実施したことで一定程度の成果があったことを踏まえ、「普通である」と判断した。					判断理由：				
	今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続							
方向性の判断理由改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 「求人関連活動数」については、近年、新型コロナウイルス感染症の影響により、医育大学及び専門学校等訪問回数が落ち込んだものの、情報共有ツール（InstagramやFaceBook）を活用した求人情報発信の強化を図った。また、職員向けにデジタルサイネージでの院内周知や市ホームページにおいても継続した求人活用を行っている。令和5年度からは、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことに伴い、各種学校訪問回数も回復していくものと考え、コロナ禍以前の取り組みを実施していくことから、「現状のまま継続」とした。				R8： 医療従事者等の安定的な確保については、求人関連活動を継続して行っていくことが重要であると認識しているが、第2次実施3カ年の期間においては、患者数の減少等に伴う病床数の削減や経営改善を図るためコンサルを活用し、職員数の適正化に向けた取り組みを推進してきた背景から採用者数は激減したが、採用予定人員については確保することができた。今後においては、年度途中・年度末退職者及び再任用職員の退職者等がいることから、引き続き求人関連活動を通じて医療従事者等の確保が重要であり、「現状のまま継続」とした。				R10：							

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名		看護師確保事業（看護学生修学資金貸与事業）				事業期間	平成28年度 ～ 年度							
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	1－6－2	他に関連する基本事業	－	－	－	－	－	所管課係	市立病院管理課職員係
目的 (何のために実施するのか)	「医療を核としたまちづくり」として、将来砂川市立病院で看護師等として従事しようとする者に対し、知識と技能の習得に必要な資金（修学資金）を貸付け、優秀な人材の確保を目的とする							手段 (どのような方法で実現するのか)	看護師等養成施設の在学者に対し、卒業後に砂川市立病院で勤務することを条件に、修学に必要な資金を貸与し、卒業生の市内就業の促進を図る。（貸与を受けた期間を勤務すれば返還免除とする）					
対象 (誰・何を対象としているのか)	将来、砂川市立病院での勤務を希望する看護師等養成施設に在学する方							成果 (どのような効果が得られるのか)	修学資金の有効な活用により、看護師等のI・U・Jターン促進による地元密着を図り、地域医療体制の充実はもとより、人口減少の一助とする					
事業開始時の状況・これまでの経緯		平成28年度から、貸与した期間を勤めれば返還免除となる新制度を開始し、看護師の確保を図る。												

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
投入された事業費の推移	国	費 計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0		0		0					0	0
	道	費 計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0		0		0					0	0
	地方債	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0		0		0					0	0
	その他	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0		0		0					0	0
	一般財源	計 画 額	28,440,000	29,880,000	29,520,000	87,840,000	28,440,000	28,440,000	28,440,000	85,320,000	28,440,000	28,440,000	28,440,000	28,440,000	113,760,000	286,920,000
		予算計上額	28,440,000	28,140,000	28,080,000	84,660,000	26,100,000	27,720,000	25,560,000	79,380,000					0	164,040,000
		実績額	27,480,000	26,040,000	26,970,000	80,490,000	25,320,000	23,550,000		48,870,000					0	129,360,000
	事業費合計	計 画 額	28,440,000	29,880,000	29,520,000	87,840,000	28,440,000	28,440,000	28,440,000	85,320,000	28,440,000	28,440,000	28,440,000	28,440,000	113,760,000	286,920,000
		予算計上額	28,440,000	28,140,000	28,080,000	84,660,000	26,100,000	27,720,000	25,560,000	79,380,000	0	0	0	0	0	164,040,000
		実績額	27,480,000	26,040,000	26,970,000	80,490,000	25,320,000	23,550,000	0	48,870,000	0	0	0	0	0	129,360,000
	事業費予算の内容		助産師 1名 1年生 27名 2年生 26名 3年生 23名	助産師 1名 1年目 25名 2年目 26名 3年目 25名	助産師 1名 1年目 25名 2年目 25名 3年目 24名		助産師 1名 1年目 25名 2年目 19名 3年目 24名	助産師 1名 1年目 25名 2年目 28名 3年目 19名	助産師 1名 1年目 21名 2年目 19名 3年目 26名							
			修学資金貸付制度の利用者減による減額 (助産師、看護師)	修学資金貸付制度の利用者減による減額	修学資金貸付制度の利用者減による減額		修学資金貸付制度の利用者減による減額	前年度と比較し修学資金付与制度の利用者増により増額	修学資金貸付制度の利用者減による減額							
			修学資金貸付制度利用者の減による減少(看護師)	修学資金貸付制度利用者の減による減少(看護師)	修学資金貸付制度利用者の減による減少(看護師)		修学資金貸付制度の利用者減による減少(看護師)	修学資金貸付制度の利用者減による減少(看護師)								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：修学資金貸与者数	指標の求め方：学年別の修学資金貸与者
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：砂川市立病院への就業者数	指標の求め方：修学資金貸与者の砂川市立病院への就業者数

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標1 (単位/人)	計画値	25	25	26		26	25	25		25	25	25	25		
		実績値	25	24	23		23	22									
	成果指標1 (単位/人)	計画値	21	24	27		28	26	26		26	26	26	26			
	実績値	16	17	23		19	18										
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)						ほぼ達成されている				ほぼ達成されている					
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)						あまり上がっていない				あまり上がっていない					
		事業の効率性 (事業費に対する成果)						変わらない				あまり上がっていない					
		総合評価						普通である				普通である					
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 計画値に対し、就業者数の実績は届かなかったものの、助産師は概ね確保された状況。 看護師については不足している状況ではあるが、卒業生の市内就職促進対策・人口減少対策の一助として有用。 引き続き、看護師確保に向けて修学資金貸付制度の利用促進及び就業者数増加に向けたPRを継続していく。	自己分析： 計画値に対し、貸与者数及び就業者数の実績は届かなかったものの、前年とほぼ同水準であり、助産師は確保された。看護師については不足している状況ではあるが、卒業生の市内就職促進対策・人口減少対策の一助として有用であると考ええる。 引き続き看護師確保に向けて修学資金制度の利用促進及び就業者数増加に向けた取り組みを継続して行っていく。	自己分析： 計画値に対し貸与者数及び就業者数の実績は届かなかったものの、就職者数は前年度を上回った。病院機能・規模等の見直しに伴い、看護師及び助産師数の適正化を図る必要があることから、計画及び指標等の見直しについて検討を行う。	判断理由： 修学資金貸与者数については、ほぼ計画値と同水準であり、一定程度達成することができた。特に助産師確保に繋がれたことは評価することができる。また、就業者数については、計画値を大きく下回っているが、附属看護専門学校学生への貸与者数に対する就業者は一定程度、達成できていることを踏まえて、「普通である」と判断した。	自己分析：計画値に対し貸与者数及び就業者数の実績は届かなかった。今後においては、病院機能・規模等の見直しに伴い、看護師及び助産師数の適正化を図る必要性があることから、計画及び指標等の見直しについて引き続き検討を行う。	自己分析：計画値に対し貸与者数及び就業者数の実績は届かなかった。要因としては採用者数の減少が影響していると評価している。今後においては、一定程度の採用者数が見込まれることから修学資金制度の利用促進及び就業者数増加に向けた取り組みを継続して行っていく。	自己分析：計画値に対し貸与者数及び就業者数の実績は届かなかった。要因としては採用者数の減少により、就業者数が減少していることが影響していると評価している。また、採用者数の減少により、就業者数についても計画値を大きく下回っているが、今後においては一定程度の採用者数が見込まれることを踏まえ、「普通である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：			
	今後の方向性						現状のまま継続				現状のまま継続						
方向性の判断理由改善、改革の内容(R5、R8、R10)			R5： 修学資金貸与制度は看護師が不足している状況において、看護師確保に向けた有用な制度である。また、修学資金免除制度による卒業生の市内就職促進対策・人口減少対策の一助になっていると考える。 令和5年度から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことに伴い、PR活動がコロナ禍以前のように回復していくものと考え、引き続き看護師確保に向けた修学資金制度の利用促進及び情報発信を実施していくことから、「現状のまま」とした。				R8： 修学資金貸与制度は看護師の安定的な確保に資する制度であるが、近年では附属看護専門学校に在学する約7割の学生が貸与を受けているなか、当院において複数の病棟を廃止したことから、看護師数が一時的に過剰となり、採用者数が減少した。今後においては施設基準（7対1看護配置基準）を満たすためには、これまでと同程度の看護師確保が必要となることから「現状のまま継続」とした。				R10：						

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名	医療機械器具整備事業				事業期間	— 年度 ～ — 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	1-6-2	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	所管課係	市立病院経営企画課用度係
目的 (何のために実施する のか)	医療機器を整備することにより、市立病院が担うべき医療の質と安全を確保する。また、医師招聘やスタッフの安全確保にも繋がる。						手段 (どのような方法で 実現するのか)	病院事業管理者・院長と診療科のヒアリングを引き続き実施し、財務状況も勘案しながら適切な医療機器の選定を実施する。						
対象 (誰・何を対象として いるのか)	患者、2次医療圏域医療機関、医師及び医療従事者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	医療機器を計画的に整備することにより、診断、治療の効率化及び患者・医療従事者の安全を図る。						
事業開始時の状況・これまでの経緯	医療ニーズに対応するため、医療機器については、新規購入及び更新の有効性及び安全性等を総合的に判断し、医療機器選定を実施してきた。高度急性期・専門医療の提供には医療機器整備は不可欠であることから継続した事業実施が求められる。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額	2,332,000			2,332,000		32,660,000		32,660,000					0	34,992,000
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額	39,687,000	21,076,000	66,000,000	126,763,000		0		0					0	126,763,000
	地方債	計画額	636,500,000	200,000,000	200,000,000	1,036,500,000	697,900,000	200,000,000	200,000,000	1,097,900,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	800,000,000	2,934,400,000
		予算計上額	636,500,000	757,100,000	688,200,000	2,081,800,000	697,900,000	232,414,000	1,538,500,000	2,468,814,000					0	4,550,614,000
		実績額	604,000,000	873,000,000	569,000,000	2,046,000,000	678,221,500	240,400,000		918,621,500					0	2,964,621,500
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額			0	0			0	0					0	0
		実績額		60,698,000		60,698,000		0		0					0	60,698,000
	一般財源	計画額	37,151,000			37,151,000	32,066,000	62,680,000		94,746,000					0	131,897,000
		予算計上額	37,151,000	72,216,000	54,952,000	164,319,000	19,006,000	62,680,000	15,384,000	97,070,000					0	261,389,000
		実績額	54,532,742	30,689,000	20,006,803	105,228,545	44,497,915	24,667,980		69,165,895					0	174,394,440
	事業費合計	計画額	673,651,000	200,000,000	200,000,000	1,073,651,000	729,966,000	262,680,000	200,000,000	1,192,646,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	800,000,000	3,066,297,000
		予算計上額	673,651,000	829,316,000	743,152,000	2,246,119,000	716,906,000	295,094,000	1,553,884,000	2,565,884,000	0	0	0	0	0	4,812,003,000
		実績額	700,551,742	985,463,000	655,006,803	2,341,021,545	722,719,415	297,727,980	0	1,020,447,395	0	0	0	0	0	3,361,468,940
	事業費予算の内容		医療機械器具等購入費	医療機械器具等購入費	医療機械器具等購入費		医療機械器具等購入費	医療機械器具等購入費	医療機械器具等購入費							
	前年度予算との比較 (増減理由)		病院改築時(H22年)購入した給食用再加熱カートの更新及び高額な医療機器更新による大幅な増額	病院改築時(H22年)購入した血管造影X線診断装置の更新及び高額医療機器更新による大幅な増額	病院改築時(H22年)購入した全身用X線CT診断装置の更新及び高額医療機器更新による大幅な増額		病院改築時(H22年)購入した全身用X線CT診断装置の更新及び高額医療機器更新による大幅な増額	更新が必要な放射線機器がなく他の機器について必要最低限の更新としたため大幅な減額	病院改築時(H22年)購入した全身用X線CT診断装置・多目的デジタルX線TV・乳房用X線診断装置等の更新、及びH30年に更新した電子加線の再度更新による大幅な増額							
	実績との比較 (増減理由)		上記理由及び修理不能による医療機器の購入による増額が要因	上記理由及び修理不能による医療機器の購入による増額が要因	入札による執行残額の発生が主たる要因		消化器内科医師増員による必要機器の購入及び修理不能による医療機器の購入による増額が要因	入札による執行残額の発生が主たる要因								

【CHECK・ACTION】																	
指標の推移・評価																	
活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：医療機器購入ヒアリング数				指標の求め方：ヒアリングの回数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：充足率				指標の求め方：当年度購入数／予算策定時における予定数									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総 合 計 画 計
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 業務 事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1		
		実績値	1	1	1		1	1									
	成果指標 1 (単位/%)	計画値	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	117.0	118.0	120.0		100.8	137.0										
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている			達成されている							
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている			上がっている							
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					少し上がっている			あまり上がっていない							
		総合評価					良好である			良好である							
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 計画値に対し実績が高い理由は、新型コロナウイルス感染症対策強化に伴い予算外の医療機器を緊急的に整備したことによる他、病院改築時に購入した機器が耐用年数を超え修理不能により更新したものである。今後についても安全かつ高度医療機器の整備を計画的に推し進める。	自己分析： 計画値に対し実績が高い理由は、高度医療機器の整備や血管造影X線診断装置の更新及び予算外の医療機器を緊急的に整備したことによる他、病院改築時に購入した機器が耐用年数を超え修理不能により更新したものである。今後についても安全かつ高度医療機器の整備を計画的に推し進める。	自己分析： 計画値に対し実績が高い理由は、高度医療機器の整備や全身用X線ＣＹ装置の更新及び予算外の医療機器を緊急的に整備したことによる他、病院改築時に購入した機器が耐用年数を超え修理不能により更新したものである。今後についても安全かつ高度医療機器の整備を計画的に推し進める。	判断理由： 高度医療、救急医療及び特殊医療に対応しつつ、地域医療の特殊性を的確に判断し、計画的に医療機器の整備を進めている。	自己分析：計画値に対し実績が高い理由は、消化器内科医師の増員により、内視鏡関連機器を増設し予算外の医療機器を緊急的に整備したことによる他、病院改築時に購入した機器が耐用年数を超え修理不能により更新したものである。今後についても安全かつ高度医療機器の整備を計画的に推し進める。	自己分析： 計画値を上回った理由は、当初予算内で購入を予定していた機器2件が不要となるも、耐用年数を超過し修理不能となった機器を予算外で更新したことによる他、医師を始めとする全職員の働き方改革を推進するため、勤務環境の改善及びICT機器を活用とした業務効率化を図ることを目的として、「医療施設運営費等補助金（ICT機器を活用した勤務環境改善の先駆的取組を行うモデル医療機関調査支援事業）」の交付決定を受け、関連機器を整備したことも要因である。今後も、安全で高度な医療の提供に向け、医療機器の計画的な整備を推進していく。	自己分析： 判断理由： 高度医療、救急医療及び特殊医療に対応しつつ、地域医療の特殊性や医療ニーズを踏まえた計画的な医療機器整備を推進している。また、老朽化に伴う緊急的な機器更新や、補助事業を活用したICT機器の整備も含まれるが、これらはいずれも医療提供体制の維持・強化及び業務効率化に資するものであり、医療の質の向上と安全性の確保に寄与しているものと判断できる。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：			
今後の方向性						現状のまま継続			現状のまま継続								
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5： 医療機器を整備することは、地域医療・患者サービスに直結することから、今後についても継続的な整備を計画的に進める必要がある。また、地域医療の特殊性を的確に判断し、必要な医療機器の整備を推し進めなければならないことから、継続する事業と考える。				R8： 医療機器の整備は、地域医療の充実及び患者サービスの向上に不可欠であり、安全で質の高い医療を継続的に提供するため、今後も計画的な更新・整備を進める必要がある。また、地域医療の特殊性や医療ニーズを踏まえ、必要な医療機器の整備を推進することで医療提供体制の維持・強化が図られることから、本事業は継続して実施するものとする。あわせて、補助金等の活用や整備内容の精査を行い、効率的な事業運営に努める。				R10：						